

令和4年度

事業報告書

ときわだい保育園

1. 概要

入園児童数は年間を通して111名程度であり、0歳児クラスは4月から15名を受け入れ、100名定員を超えての入園となりました。今年度は園内でも新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行し、クラス閉鎖や登園自粛の措置を取り対応することが多々ありました。感染状況に注視して感染症対策を講じながら、コロナ禍でもできる行事を考え取り入れていきました。

保育においては、保育園は密集、密接が避けられない状況ですので、可能な限り保育内容を工夫しながら保育をしました。小さいころから保育園で培ってきた異年齢児保育や主体性を育てる保育が子どもたちの成長に大きくかかわっており、自分の思いを言葉で伝えたり、小さい子へのかかわり方が丁寧で思いやりを持ちかかわる姿が多くみられました。その反面、子どもの特性や家庭環境から、皆の話の輪に入ることが難しかったり、自分だけできないなど自己肯定感が低く支援が必要な子どもが増えてきているので、保護者の相談にのったりニーズに合わせて関係機関と連携を取りながら保育を進めていきました。また、オンライン研修に参加し、新人育成、一人ひとりのキャリアアップや専門職としての質向上に努めました。今後もこども理解をしながら、子ども一人ひとりに合わせた保育をすると共に、子どもたちが人とのかかわりの中で興味関心を持ち、友だちと協力し合いながら生活できるようにしていきたいです。

2. 園児及び職員の状況

(1) 開所日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293

(2) 児童の入所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	15	15	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	178
1～2歳児	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4～5歳以上児	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
計	111	111	110	110	111	111	111	111	111	111	111	111	1,330

(3) 児童の出席状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
出席人数	1,800	1,413	2,153	2,122	1,949	2,132	2,033	2,102	1,820	1,942	1,954	2,149	23,569

(4) 職員の状況（令和5年3月1日現在）

職種	園長	主任 保育士	看護 師	保育士	保育士 P	支援 員	栄養士	調理師	事務	調理師 P 清掃員 P
人数	1	1	1	19	2	1	2	1	1	3

子育て支援センター

園長	保育士	支援員
1 (※)	2	0

◎嘱託医

いとう小児科クリニック 大内眼科医院 たんご歯科医院

※ 兼

3. 保育の実践内容

(1) 保育内容について

以上児・・・自由あそびは、じっくりゾーン・ごっこゾーン・ちょきちょきゾーン・よむよむゾーン・わいわいゾーンなど好きな遊びを選んでじっくりと遊びこむとともに、異年齢児との関わりを大切にしながら保育をしました。子どもたちの声やアイデアを保育に取り入れ、それに合わせた環境を設定することで遊びに広がり生まれ、さらに夢中になって遊ぶことができました。また、運動会や発表会など、通常の年齢別クラスでの活動が望ましい場合もあるので状況に応じての対応を行いました。

未満児・・・一人ひとりの生活リズムや体調を把握し、子どもに合わせた関わりをしていきました。また、遊びを選べる環境を設定し、満足して遊ぶことができるようにしていきました。

感染症対策として食事は各クラスで行い密集を避けると共に、年齢に合わせてマナーを知らせていきました。

(2) 保育目標に沿った保育の実践

- 「あいさつのできる子ども」を育てるために
- 「健康でのびのびと遊ぶ子ども」を育てるために
- 「心豊かな子ども」を育てるために
- 「考える子ども」を育てるために
- 「意欲的に取り組む子ども」を育てるために

- ・ 一人ひとりの姿に合わせてねらいを立てるとともに、以上児・未満児グループ研修やケース検討を行い、保育内容や子どもへの関りについて共通理解をし、保育にあたるようにしました。
- ・ みんなで食べることの楽しさや、栽培への興味関心が持てるように食育係を中心に目的を持って野菜栽培を行い、自分たちで調理して頂く楽しさや嬉しさを感じられる保育を心がけました。
- ・ 旬の食材を実際見て、手に触れられる体験を多くできるようにしたり、クッキングをして作って

食べることの楽しさを味わいました。

- ・ 自分たちで遊びを考えて遊ぶ楽しさや、自然物に触れ存分に遊びこむことでの充実感が味わえる保育を心がけ実践に努めました。
- ・ 行事への参加としては、運動会や発表会などは子どもたちの興味のある普段の遊びや、子どものアイデアを取り入れ一緒に準備していくことで、意欲や楽しさを感じることができる内容にしていきました。
- ・ 日々の生活を大切に子どもたちの言葉に耳を傾けたり、姿をよく見て思いを探るようにしました。そして友だちとのかかわりから生まれる思いやりの気持ちを大切に受け止めていきました。
- ・ 子どもたちの発達に合わせて部屋の使い方や設定する玩具を変え、子ども達が遊びたくなるような環境作りに努めましたが、まだ、見直す点が多々あります。
- ・ 日々の保育の中で挨拶が身につくように、職員も積極的に挨拶するよう心掛けました。

4. 健康管理と安全対策

(1) 健康管理

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、登園時の検温と体調確認、手指消毒を徹底しました。また、保育中の園児の体調確認をし、体調不良の際は連絡して迎えに来てもらうようにしました。

園内の感染症流行時には早急に対応するように心がけ、保護者への情報発信や適宜感染症対策を行いました。

食事の際は異年齢ではなくクラス別で食べたり、随時換気やおもちゃ等の消毒などを徹底して感染予防に努めました。

虫歯のあるお子さんは早めに治療をして頂いております。

1年を通して怪我等での救急受診の件数 8 件ありました。小さな怪我でも大事をとって受診をし、対応するようにしました。

受診を要しないが、日常的に、引っかき、噛み付き、擦り傷、切り傷、転倒し唇をぶつけるなどの怪我がありました。

次年度も予防接種を勧めて予防できる病気は予防し感染対策を図っていく必要があります。

●健康診断

内容	月 日	担当医	備 考
内科	6月3日	いとう小児科クリニック	異常なし・・・110名
	10月19日	伊東 亮助	異常なし・・・111名
眼科	6月10日	大内眼科クリニック	異常なし・・・109名 アレルギー性結膜炎・・・1名
	10月28日	大内 哲也	異常なし・・・110名 アレルギー性結膜炎・・・2名
歯科	6月22日	たんご歯科クリニック	虫歯 66 本 (3 歳児 7 本、4 歳児 32 本、 5 歳児 27 本) 反対咬合 4 名、癒合歯 6 名、要観察歯 4 名

		丹呉 卓史	開咬2名、切端咬合3名 虫歯のある子10名・虫歯のない子100名
10月26日			虫歯40本(3歳児3本、4歳児21本、 5歳児16本) 反対咬合3名、切端咬合1名、開咬2名 癒合歯3名、要観察歯1名 虫歯のある子10名・虫歯のない子101名

●病欠欠席状況

累計

病名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
水痘	2												2
溶連菌感染症					2	3	2					1	7
RSウイルス								12					12
インフルエンザ											9	150	159
流行性耳下腺炎													
ヘルパンギーナ	1												1
マイコプラズマ													
手足口病					3	21							24
ノロウイルス													
ロタウイルス													
プール熱(咽頭結膜熱)	3											3	6
りんご病													
風疹													
麻疹													
肺炎	3			5									8
喘息						3							3
気管支炎	3		2		2		1	1	1		1		11
中耳炎				3				7		1	1	3	15
風邪症候群	1		3				1	3	11	2			21
熱	36	18	21	16	15	42	59	22	33	8	20	37	324
咳	5	10	12	10		12	41	15	13	2	8	15	143
咽頭痛	1			1		1						1	4
扁桃炎		3						2					5
咽頭炎	1	1						1	3		1		7
胃腸炎		9	5	1		17	2		2		2	2	40
感染性胃腸炎		21											21

下痢、軟便	2	62	2	2	16	12	7	7	1	6			117
腹痛							2			1	1	1	5
嘔気、嘔吐		7		1	10	3	1				6		28
体調不良			1		2	4	2	2			1		12
通院	1	2	5	5		7	6	6	1	4	6	5	48
入院	1		1			5						2	8
熱性けいれん			1								1	3	5
突発性発疹	1		3		4						1		9
ヒトメタニューモウイルス 感染症							17	3					20
流行性角結膜炎								2					2
アレルギー	1												1
新型コロナウイルス 感染症	17	71	15	4	29	16	16	6	148	9			331
鼻水	7	13	12	9	2	5	15	9	5	5	9	2	93
発疹					1								1
大事とり	13	5	2	2	4	5	12	1	16	7	7	2	76
自家中毒	1		1										2
結膜炎	1												1
便秘										1			1

5月 感染性胃腸炎（サボウイルス検出者園児3名 職員1名）

●毎月身体測定を実施し、その結果を健康の記録カードに記入して保護者へ連絡しました。

(2) 安全対策

- ・火災、地震、水害、不審者対応による避難訓練の実施（通報訓練及び総合避難訓練含）
- ・交通安全教室 年2回
- ・職員による安全点検(毎日)

●交通安全教室実施報告

新型コロナウイルス感染症の影響で、交通指導員が来園する交通安全教室が1回となり、1回は園内にて、3歳以上のクラスごとに交通ルールを確認しました。

6月	「とまと」のお約束、横断歩道の渡り方 園内にて各クラスの散歩時に確認	59名参加
10月6日	道路の渡り方、交通ルールのDVD 指導員来園	47名参加

●避難訓練実施報告

月日	時間	場所	想定及び内容	参加者
5月9日	10:00	ホール	いろいろな避難の仕方や合図を知る	130名
5月30日	10:00	保育室	地震(軽震)、安全な場所に身を寄せる	124名
6月22日	10:00	園庭	園内火災(給食室)及び通報訓練	134名
7月20日	10:00	園庭	地震(強震)の際の避難の仕方について	139名
8月25日	10:00	ホール	水害時の避難の仕方について	116名
8月30日	10:00	ホール ほふく室	不審者侵入時の避難の仕方について	131名
9月27日	16:00	園庭	地震後に出火した際の避難の仕方について	103名
10月17日	10:00	駐車場	園内火災(給食室)の避難の仕方について	125名
11月15日	9:00	園庭	園庭遊び中の避難の仕方について	129名
12月21日	10:00	ほふく室	遠距離火災の避難の仕方について	83名
1月18日	11:40	保育室	予告なしの地震(強震)の際の避難の仕方について	138名
2月21日	17:35	非常口	予告なしの火災の際の避難の仕方について	49名
3月13日	14:46	保育室	午睡中の地震の避難の仕方について	101名

※ 参加者は園児、職員、一時保育、支援センター利用の人数も含む

5. 施設整備

- ・遊具点検
- ・保育室の戸の車輪交換
- ・駐車場ライン引き
- ・水道排水溝のパッキン取り換え
- ・給食室給湯器部品取替え
- ・ほふく室エアコン部品取替え
- ・玄関鍵取替え

6. 職員研修の充実

(1) 園内研修

月日	研修内容
5月14日	園庭の環境整備について(学び・検討)
6月	各グループに分かれて環境整備
9月17日	園庭の環境整備について(経過報告)
12月10日	保育の振り返りと共通理解
2月14日	オンライン研修「育児担当制が育てるもの、育むもの」

(2) グループ研修

月 日	研修内容
5月	以上児、未満児
7月	以上児、未満児
9月	以上児、未満児
11月	以上児、未満児
1月	以上児、未満児
3月	以上児、未満児（まとめ）

園内研修については、「園庭の環境整備」と題して、園庭を3つのグループに分けて、身近な所から取り組める環境整備に取り組みました。子どもの姿や現在の園庭の状況から、遊びを充実させるためにどのような環境が必要かそれぞれのグループが検討し、職員が協力し合い環境を作り上げることができました。課題も多かったものの、子どもたちが喜んで遊ぶ姿は職員にとって次の環境整備へつなげることができました。

その他2ヶ月に1回、以上児グループ・未満児グループに分かれて研修を行い、クラスの様子や環境構成、その時の状況や問題に合わせた検討を行い改善していくようにしました。また、それぞれの職員が活発な意見を出せるような内容や環境づくりを心がけました。

(3) 園外研修及び会議

新型コロナウイルス感染症の流行により、参集形式の会議や研修は少なかったですが、出来る限り受けた研修はオンライン等で受講することができました。ネクサスのキャンパス研修では様々な階層に合わせた内容やグループワークもあり、実りある研修になりました。

開催日	事業内容	場所
4月12日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
4月19日	4支援センター会議	生涯学習センター
4月27日	キャンパスオンライン研修「中堅研修」	ときわだい保育園
4月28日	私立園長会議	市役所
5月6日	北上市幼保小等連絡会議	オンライン
5月12日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
5月19日	キャンパスオンライン研修「リーダー研修」	ときわだい保育園
5月26日	保育分野におけるICT化の可能性と課題	ときわだい保育園
5月26日	キャンパスオンライン研修「中堅次世代研修」	ときわだい保育園
6月、7月9日	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	ときわだい保育園
6月2日	マーチングバンド協会 総会	都南公民館
6月3日	家庭教育・子育て支援担当者研修会	岩手県立生涯学習推進センター

6月4・11日	北上和賀地区保育協議会研修会	江釣子公民館
6月7日～9日	岩手県保育研究大会(オンライン)	ときわだい保育園
6月15日	幼保小等連絡会議	黒沢尻北小学校
6月21日	公私立園長会議	市役所
6月30日	学校協働本部総会	上野中学校
7月5日	キャンパスオンライン研修「リーダー研修」	ときわだい保育園
7月11日	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	アイーナ
7月14日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
7月16日	北上和賀地区保育協議会ピアノ演奏会	さくらホール
7月17・18日	キャリアアップ研修「幼児教育」	アイーナ
7月25日～	わくわくコミュニケーション	ときわだい保育園
7月26日	キャンパスオンライン研修「中堅研修」	ときわだい保育園
8月2・6日	キャリアアップ研修「食育・アレルギー児対応」	アイーナ
8月9日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
8月9・11日	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	アイーナ
8月10日	保育・幼稚園版 BCP（事業継続計画）の重要性	ときわだい保育園
9月1日	キャンパスオンライン研修「中堅研修」	ときわだい保育園
9月5日	虐待防止研修会	ときわだい保育園
9月6日	私立園長会議	市役所
9月12日	子育て支援指導者向け研修会	ときわだい保育園
9月15日	新任保育士研修	ときわだい保育園
9月16日	発達に応じた離乳食と保護者とのコミュニケーション	ときわだい保育園
9月23・28日	キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	アイーナ
10月～12月	キャリアアップ研修(オンライン)	ときわだい保育園
10月4日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
10月13・17日	4園合同研修会「ドキュメンテーション」	いいとよ保育園
10月14日	私立園長会議	市役所
10月19日	管理者研修	本部
10月21日	幼保小公開保育	黒沢尻幼稚園
10月31日	小学校交流	ときわだい保育園
11月5日	4支援センター会議	支援センター
11月9～11日	中堅主任研修	ときわだい保育園
11月13日	院内研究発表	さくらホール
11月14日	北上和賀地区保育協議会幹事会	江釣子公民館
11月18日	児童生徒と語る会	黒沢尻北交流センター
11月28日	上野中学校区学校運営協議会	上野中学校
11月29日	専修大学北上福祉教育専門学校 教育課程編成委員会	専修大学北上福祉教育専門学校

12月14～16日	中堅保育所長等研修	ときわだい保育園
12月16日	キャンパスオンライン研修「リーダー研修」	ときわだい保育園
1月	食物アレルギー講演会	ときわだい保育園
1月10日	4園合同研修会 木村先生	いとよ保育園
1月12日	公私立園長会議	市役所
1月24日	北上和賀地区保育協議会幹事会	江釣子公民館
1月27日	管理者研修	本部
2月	日本保育協会女性部中央研修会(オンライン)	ときわだい保育園
2月6日	幼保小等連絡会議	黒沢尻北小学校
2月15日	管理者研修	本部
2月17日	相談員連絡協議会	市役所
2月22日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
2月27日	日本保育協会岩手県支部施設長等管理者研修会	メトロポリタン盛岡
3月2日	キャンパスオンライン研修「新任研修」	ときわだい保育園
3月4日	公私立園長会議	市役所
3月22日	管理者研修	本部
3月29日	専修大学北上福祉教育専門学校 教育課程編成委員会	専修大学北上福祉教育専門学校

7. 主な年間行事

開催日	事業内容	参加者
4月1日	進級お祝い会	園児 94名 職員 34名
4月2日	入園お祝い会	新入園児 20名 保護者 40名 職員 8名
4月22日	お花見ランチ	園児 99名 職員 32名
5月10日	こどもの日ランチ	園児 105名 職員 31名
6月10日	かみかみランチ	園児 97名 職員 29名
7月4日	鑑賞会(ピエロ)	園児 103名 職員 31名
7月7日	七夕集会	園児 102名 職員 29名
7月13日	マーチング指導	4.5歳児 37名 職員 23名
7月21・22日	夏祭り	園児・保護者各 109名 職員 30名
9月2日	マーチング指導	4.5歳児 38名 職員 23名
9月7日	マーチングリハーサルと遠足	4.5歳児 36名 職員 7名
9月9日	お月見ランチ	園児 107名 職員 29名
9月17日	運動会	園児 100名 保護者 200名 職員 32名

9月24日	マーチングバトンフェスティバル	園児 39名 職員 10名
10月4日	カレーパーティー	園児 91名 職員 32名
10月12日	ピクニック	園児 91名 職員 25名
10月24日	いわさき認定こども園との交流(とき保にて)	年長児 19名 来園児 21名
10月28日	ハロウィンランチ	園児 97名 職員 30名
10月29日	JA 農業祭	園児 37名 職員 9名
10月31日	小学生との交流会	年長児 18名 小学生 40名
11月18日	秋の収穫祭	園児 103名 職員 29名
11月21日~25日	勤労感謝の日週間	園児 111名
11月30日	発表会総練習	園児 99名 職員 32名
12月10日	発表会	園児 109名 保護者 218名 職員 31名
12月12日	R5 新入園児面接	新入園児と保護者 16組
12月20日	冬至ランチ	園児 63名 職員 26名
12月23日	クリスマス会	園児 67名 職員 26名
1月13日	小正月行事	園児 103名 職員 31名
1月26日	マーチング指導	3.4歳児 37名 職員 22名
2月3日	豆まき会	園児 107名 職員 31名
2月6日	小学校体験入学	年長児 20名、一時保育 1名
2月8~22日	保育参観	園児 111名 保護者 100名
2月14日	マーチング引継ぎ会	3.4.5歳 59児名 職員 15名
3月2日	マーチング指導	3.4歳児 38名 職員 22名
3月3日	ひな祭り会	園児 103名 職員 30名
3月10日	おわかれ会	園児 86名 職員 31名
3月14日	R5 新入園児説明会	新入園児と保護者 16組
3月15日	卒園式総練習	園児 16名 職員 10名
3月18日	卒園式	年長児 20名 保護者 40名 職員 14名
3月28日	修了お祝い会	園児 108名 職員 32名

- ・運動会と発表会は2・3部制で保護者の人数制限をして行いました。マーチング活動は、感染状況を見て、子どもたちの負担にならないように配慮しながら、出来るだけ参加して行きました。保育参観は感染症の流行が落ち着いた2月にすることができ、保護者にとっては普段の様子を見たり保育者と普段の様子を話しをする、良い機会となりました。

8. 地域との連携促進事業

感染症の流行状況を鑑みて再開した行事がありましたので、参加しました。

保育実習生及びボランティア

新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、実習生を受け入れました。

保育実習Ⅱ	専修大学北上福祉教育専門学校	1名	5月9日～20日(10日間)
保育実習Ⅲ	北日本医療福祉専門学校	2名	8月18日～8月31日(10日間)
保育実習Ⅰ	専修大学北上福祉教育専門学校	2名	11月28日～12月9日
		1名	令和5年1月16日～27日(10日間)
		計	6名

9. アクシデント及び苦情報告

(1) 苦情について

2件

「挨拶をしない先生がいる」「一部の職員の子どもへの対応が冷たい」など、どちらも職員の対応についての苦情でした。日々の業務に追われながら仕事をしていますが、それが態度や表情に表れたり、対応や態度によって子どもや保護者が嫌な気持ちになってしまうのは決して許されることではありません。すぐに全職員で話し合い対応を改めると共に、子どもに対しても一人の人権として尊重して関わるよう確認し合いました。

受付日：令和4年9月

苦情内容

行事のアンケートを Google forms で受け付けたところ、苦情があり。「園長先生はじめあいさつもない先生がいます。運動会の帰りも突っ立ったまま声もかけないこちらからあいさつしても返事したようないような。子供をお願いしているので強く言うことに気が引けますがあまりのときは市のほうに相談しようと思いました。」

経過と改善内容

- 報告会を開き職員に周知し対策案を考える。
 - ・一人ひとりが意識をし、どんな状況であっても気持ちのよい挨拶を心掛ける。
- 翌月の園だよりの発行の際に、苦情報告と謝罪と、今後の対応を記載した。

受付日：令和5年2月

苦情内容

子育て支援課より電話があり、保育園の保護者でクラス、氏名は伏せての苦情の連絡が入る。子どもが保育園に行きたがらない。理由を聞くと一部の職員が子どもに対して、何かを聞くと「はあ」と言ったり、「あとでにして」と言い、うちの子だけにあたりが強いように感じる。子どもの話ではあるが対応に気を付けて欲しいとの事。

経過と改善内容

○緊急リーダー会議を開き職員に周知し対策案を考える。

- ・子どもをかけがえのない一人の人として尊重し、丁寧に保育する。
- ・様々な子どもや保護者がいるので、どの人も過ごしやすい場となるような保育を心がける。
- ・不適切な言葉が聞かれた場合はリーダーをはじめ周りの職員が注意し、適切な対応を確認し合う。
- ・業務に追われる等、手いっぱいになり、気が付かないうちに態度に表れてしまう場合があると思うので業務の分担をしてお互いに助け合うこと。

(2) アクシデントについて

- 病院で診察を受けた事故 8件

転倒し頭部打撲2件、眼付近の裂傷2件、転倒し歯をぶつける4件ありました。体幹の弱さからの怪我や他児との関わりから怪我に繋がるもの(転倒)があったので、体幹を鍛える遊びを取り入れたり、子ども同士の関りを注意深く見ていきたいと思えます。また、夕方の遊びの切り替えの時に起こる怪我が多かったので、職員間で連携を取りながら安全に過ごすことができるよう保育していきたいと思えます。

怪我を負った際には軽微に見える怪我でも病院を受診することを心がけ、保護者に対してしっかり説明できるような措置をとりました。医療費はすべて園で加入している保険で対応し、保護者に経済的負担がかからないように対応しました。

事故報告

9月6日(火) 11時頃 1歳児	
事故状況	ホールあそびの際、ボールを追いかけ、つまずき転倒し、ステージの角に顔をぶつける。
怪我の内容	左前額部打撲 皮下血腫
対応	冷却をしながら脳神経外科を受診する。
結果	・皮下血腫が大きく出来てしまったが元気もあるため、今後嘔吐や(1回くらいは大丈夫)明らかにいつもと違う場合は救急車で救急外来受診した方が良いが、明朝まで様子見てなんともなければあとは大丈夫との事。再受診はなし。

事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・使用後の遊具の片付けをしたり、室内へ戻ろうとする子どもの方に気を取られてしまっていた為、ホール全体を見ている人がいなかった。 ・一番付いていなければならぬ危険個所に保育者が付いていなかった。 ・危険予測が不十分であった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・体と気持ちが追い付かない年齢でもあるので、挑戦したい気持ちを受けとめ見守っていく中で、常に危険予測し危機感を持って見守る。 ・職員同士で声を掛け合い、各場所に職員を配置していく。また、片付け（ホール裏）は保育補助にお願いします。 ・この事故を全職員に周知し、再発防止に努めていく。

10月18日（火）11時20分頃 支援センター利用者	
事故状況	いいとよ交流センターにてひろばを開催する。体操をしようと集まろうとした時に、抱っこしていた子どもが体をバタバタさせた為、それを支えようとした保護者がバランスを崩し子どもを庇う体制で足を滑らせ転倒する。
怪我の内容	後頭部を強打
対応	後頭部を冷却し様子を見るが、顔色が悪く、吐き気がするとの事だったので救急車を呼び搬送する。
結果	検査をした結果異常なし
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中に子どもが予期せぬ動きをした。 ・靴下で会に参加していた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・会場によっては、中履きや裸足で参加してもらう。 ・予期せぬ行動や怪我、事故などがあることを念頭におき、その場で判断できるよう対応の仕方を繰り返し学ぶ。

10月18日（火）16時20分頃 2歳児	
事故状況	園庭あそび時、バケツを持って歩いていた本児が転倒し、バケツの底面に眉の上部分と目の少し上の部分をぶつける。
怪我の内容	左眉上、眼瞼裂傷
対応	患部を圧迫し止血する。脳神経外科を受診する。
結果	軟膏塗布、絆創膏貼付の処置を受ける。軟膏、カロナールを処方される。再受診はなし。
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が少し不安定な本児が玩具を持って歩く際の危険の予測ができていなかった。 ・本児の近くにいた保育者が保護者対応中で本児に背を向けていた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具を両手に持った状態で歩くことの危険性を本児や他児、他の保育者にも知らせていく。 ・保護者対応をする保育者の他に、全体を見る保育者を配置する。 ・足元や身の回りに怪我に繋がる物はないか確認する。 ・今回の事故を職員全体で把握し、再発防止に努めていく。

10月27日（木）16時50分頃 2歳児	
事故状況	保育室であそんでいる際、振り向いたところに他児の頭があり口をぶつける。
怪我の内容	上前歯（左）出血、動揺
対応	止血し歯科を受診する。

結果	一時的に歯茎の靭帯のような部分が損傷しているが再受診の必要はなく、消毒と経過観察となる。
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室には保育士が2人いたが本児があそんでいる側にはいなかった。 ・他児との間隔が近くなっていたが、本児が自分のあそびに夢中になって周りがよく見えていなかった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者がそれぞれのあそびに付きながら様子を見守る。 ・子ども同士の距離感などに配慮する。

12月2日（金）10時40頃 4歳児	
事故状況	ホールで追いかけてっこをしている際、本児が興奮し他児に抱きつき押し倒した弾みで他児の後頭部に鼻の下をぶつける。
怪我の内容	上前歯出血、動揺
対応	歯茎を圧迫し止血する。歯科を受診する。
結果	レントゲン撮影し、歯根もしっかりしている。動揺も大きくないので様子見て良い。再受診はなし。
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生やいつもと違う職員いたことで落ち着きがなかった。 ・本児の興奮している姿が見られていたが、声掛けだけでやめていたので、もう少し早い時点で近くへ行って落ち着かせられたら良かった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きがない時のあそびを検討する。 ・危険が予測される子の共有をし、全体で見れるようにする。 ・興奮してきた時は早めに声を掛け、危険を知らせたり落ち着ける場を作る。

令和5年1月13日（金）16時50分頃 3歳児	
事故状況	本児がホールでしゃがみこんでいたところに、他児が転倒し、本児の上に乗っかりその反動で床に顔を打ち付けてしまった。
怪我の内容	上前歯打撲、出血。 下口唇裂傷
対応	止血し、歯科を受診する。
結果	レントゲン撮影し、永久歯に影響はない。しかし少し早めに抜けるかもしれないとの事。下口唇は消毒するのみで痛み止め処方となる。再受診はなし。
事故原因	ホールで周りが走っている中でごっこあそびが発展し、座ったり寝そべったりしていた。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびの適した環境をその都度声を掛けていく。
令和5年3月6日（月）16時45分頃 2歳児	
事故状況	戸外あそびから室内あそびに切り替えるタイミングで、保育者よりも先に保育室に入った本児が転んで口を床にぶつけたこととお迎えに来た他児の保護者から伝

	えられる。
怪我の内容	上前歯打撲、出血、軽度動揺
対応	看護師が確認し、圧迫止血し動揺見られないため様子観察する
結果	翌日本児が痛みを訴えたため母親と受診したところ、少し動揺が見られ化膿する可能性もあるため、変色や痛みなど出た場合は再受診となる。その後、受診はしていない。
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者は園庭に目を向けており、廊下の様子まで見ていなかった。 ・靴下を履いた状態でいた為、足元が滑りやすくなっていた。 ・廊下には本児と迎えに来ていた A 児の他に B 児もいて、関わる中で転倒したのではないかと。(本児の証言より)
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいる場所には必ず保育者が付き、姿を把握できるようにする。 ・室内では靴下を脱いで過ごすように伝えていく。 ・本児の保護者は今回の件を受けて B 児との関わり方が気になっている様子なので、そばについて様子を見守っていく。

令和 5 年 3 月 22 日 (水) 17 時頃 2 歳児	
事故状況	保育室の入り口前の廊下で部屋に背を向けて座って水筒を飲んでいたら、戸外から戻ってきた他児がジャンパーを廊下に掛けに出た時に本児の背中にぶつかり反動で水筒の飲み口部分が本児の右目に当たった。
怪我の内容	右眼打撲、右眼瞼腫脹 右目尻切傷、出血
対応	止血、冷却し眼科を受診する。
結果	視力検査や他の検査をして、眼球には傷ついていなかった。目尻の傷は自然に治るとの事で塗薬(タリビッド眼軟膏)処方される。1日3回塗付。3.27再受診し、目尻の傷も良くなり、終診。
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・水筒入れのカゴを廊下に置いており、廊下で子どもたちだけで水分補給をしていた。 ・出入り口に座って水分補給をしていたが、声を掛けなかった。 ・戸外あそびから戻っている最中で、子どもの出入りや動きが活発な中危険予測が不十分であった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"> ・水筒入れのカゴを室内に置き、広いスペースで水分補給を行うようにする。 ・通路をふさいでいる時は声を掛ける。 ・職員間で声を掛け合い、常に危険予測をし、危機感を持って見守る。また、外に残っている子を以上児に入っている職員にお願いするなど必要に応じて協力をお願いする。

10. 延長保育事業

今年度は1日当たり8名ほどの利用がありました。

延長保育児童が安心して過ごすことができるよう、夕方の遊びが充実化を図り、その時期に合わせて環境や場所を変えながら保育にあたりました。

(延長保育利用状況)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	25	23	26	25	26	24	26	26	24	24	24	27	300
延人数	174	132	233	226	174	211	211	242	237	245	201	224	2510

11. 一時保育事業

- 園内で新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行したので感染状況を伝え、利用する方には承諾を得たうえでお預かりしました。また、聴覚支援学校へ通っているお子さんのお預かりをし、就学に向けての集団生活を経験したり、関係機関と連携を取りながら支援をしていきました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
就労	12	3	3	7	0	0	0	1	0	5	1	1	33
緊急	0	0	0	6	2	0	2	1	2	3	6	5	27
リフレッシュ	4	0	1	2	0	2	10	7	4	3	14	10	57
延人数	16	3	4	15	2	2	12	9	6	11	21	16	117

12. 給食実施結果

各栄養素の平均と充足率

<以上児>

	エネルギー	タンパク質	脂質	カルシウム	鉄
合計	5072	239	214.3	3229	24.3
平均	422	19.9	17.8	269	2.0
目標	430	18.7	16.9	255	2.3
充足率 (%)	98%	106%	105%	106%	88%

<未満児>

	エネルギー	タンパク質	脂質	カルシウム	鉄
合計	6120	233.2	205	3565	34.0
平均	510	19.4	17.0	297	2.8
目標	467	16.4	13.0	214	2.2
充足率 (%)	109%	118%	130%	138%	120%

- ・旬の食材を使ったメニューの提供や、郷土料理を取り入れた献立を作成しました。
- ・0歳児クラスは毎月食事調査を行い、各家庭と担任が連携を取り、一人ひとりに合わせた食事提供を行いました。
- ・アレルギー児への対応
 - 鶏卵アレルギー児 3名
 - 乳アレルギー児 1名
 - キウイ・パインアレルギー児 1名
- ※ 医療機関の診断書に従い、家庭と相談しながら除去食を提供しました。
- ・行事食の日はアレルギー物質を含まない食材を使い、みんなが同じ給食を楽しんで食べることができるよう配慮しました。

ときわだい保育園地域子育て支援センター令和4年度事業報告

所在地 〒024-0013 北上市藤沢 21-180-1
電話番号 0197-72-6856
開設年月日 平成24年4月1日
専用スペース 49.69㎡
職員状況 保育士2名

事業概要

対象；幼稚園・保育園入園前の子どもとその保護者、新婦の方

1、支援センター室・園庭開放

月曜日から金曜日 9：00～12：00

14：30～16：30

土曜日 9：00～12：00

但し「わくわくひろば」がある時はひろばの場所、時間で行う

※新型コロナウイルス感染症流行の為、4月、5月は休止とした。

2、育児相談（電話・来所）

月曜日から金曜日 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：00

3、あそびの教室、子育て講座（わくわくひろば）

毎週主に水曜日 9：45～11：30

実施場所； ときわだい保育園
黒沢尻北交流センター
いいとよ交流センター
二子交流センター

実施内容； 親子で触れ合い遊び、製作遊び、絵本の読み聞かせ、体操
運動遊び、七夕会、クリスマス会、豆まき会、ひな祭り会、身体測定
食育講座 等

※新型コロナウイルス感染症対策の為、4月～9月は休止とした。

4、子育て通信の発行

5、わくわくひろばが休止の期間、遊びキットの配布や週替わりで様々な遊びの提供をした。

6、絵本の貸し出し

7、北上市子育て支援事業の補助

2歳半検診 あそびコーナー担当

ふれあいベビー教室

育児学級

北上市中央図書館「赤ちゃん向けおはなし会」

※支援事業が中止になったものや、新型コロナウイルス感染症対策の為、出向くことをやめた。